

建産協が考える

# 健康に資する建材・設備

選定のポイント / 性能リスト



# 健康に資する建材・設備 <選定のポイント / 性能リスト> 目次

・まえがき	3 P
・『健康に資する住宅』の要素	4 P
・『健康に資する建材・設備』の要素	5 P
・部位別の健康に資するキーワード	6 P
・<選定のポイント> <求められる性能> 建材4部位 / 設備4部位	7 P
・<建材> 窓（サッシ+ガラス）	8 P
・<建材> 内窓	13 P
・<建材> 断熱材	16 P
・<設備> トイレ	19 P
・<設備> バスルーム	22 P
・<設備> 洗面台	25 P
・<設備> キッチン	28 P

わたしたちは室内で長い時間を過ごすため、住環境が健康にとって重要な要素であることは明確です。

しかし、建築分野では『健康に資する住宅』の定義が明確になっておらず、必要な建材や設備の選び方もまだ確立されていません。

この基準を作り上げることは、健康な社会を実現するために貢献できる可能性があると考え、この資料を作成しました。

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会（建産協）について

わたしたちは、建材・住宅設備メーカーと、各種団体組織により構成されている団体です。  
これからの日本の住環境におすすりめできる商品のご提案をしたいと考えております。

※この資料内の製品リストは、制度検討部会の委員企業を中心に、木造戸建住宅向けとして記載しています。

# 『健康に資する住宅』とは？

住む人の健康の維持を図り、快適な居住環境を提供するよう設計・施工された住宅

以下に、『健康に資する住宅』を構成する要素を記しています。

## 『健康に資する住宅』の要素

### 温熱環境

快適な室内温度の維持

### 空気環境

良質な空気の確保

### 光・視環境

自然光の積極的な活用

### 音環境

静かな住空間の実現



### 安全対策

身体負荷軽減の配慮

### 快適環境

心地よさ・安らぎの追求

### 清潔環境

衛生的な状態の維持

## ● 住宅を構成する部位である、建材/設備についてみていきましょう。

『健康に資する建材/設備』とは？

以下の7つの要素において一定水準以上の性能を持つものとしています。

### 『健康に資する建材・設備』の要素

温熱	温熱環境	快適な室内温度を維持できる断熱性能/遮熱性能があること
空気	空気環境	きれいな空気品質に影響しない素材であること
光	光・視環境	自然光の積極的活用や眩しさに配慮されていること
音	音環境	静かな住空間となる遮音性能があること
安全	安全対策	身体負担軽減の配慮がなされていること
快適	快適環境	心地よさ・安らぎを実現できる機能があること
清潔	清潔環境	衛生的な状態を維持できる形状・素材・機能があること



それでは7つの要素から、それぞれ部位別に、健康に資するキーワードを押さえておきましょう。

各々の建材・設備にはいろいろな要素があります。  
それらが集まることによって安心、快適、そして健康へつながると考えています。

### 断熱材

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気

### キッチン

- 安全 周囲とコミュニケーションしやすい
- 安全 楽な姿勢で使える
- 清潔 掃除がしやすい

### 窓 (サッシ+ガラス)

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気
- 光 明るさ
- 音 静かさ

### 内窓

- 温熱 あたたかい室内
- 空気 きれいな空気
- 音 静かさ

### 洗面台

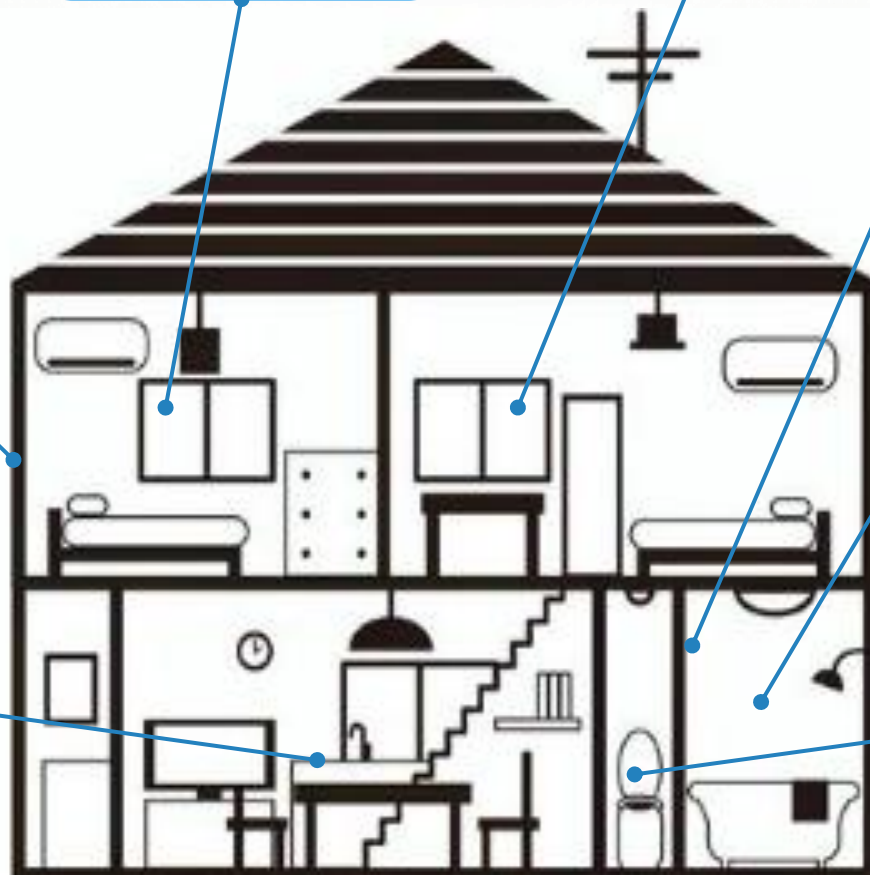
- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安全面の配慮がある
- 清潔 清潔に保つ

### バスルーム

- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安全面の配慮がある
- 清潔 清潔に保つ

### トイレ

- 温熱 あたたかい室内
- 安全 安心して使える
- 清潔 衛生面の配慮がある



これ以降、部位別に『健康に資する建材/設備』の

<選定のポイント>

<求められる性能>

を記しています。

第1弾として選定している部位は

- 建材：窓(サッシ)、窓(ガラス)、内窓、断熱材
- 設備：トイレ、バスルーム、洗面台、キッチン

の8つの部位です。

---

※ 各部位ごとの <おすすめの製品> は、別紙『健康に資する建材/設備【製品リスト】』を、ご参照ください。

※この資料内の製品リストは、制度検討部会の委員企業を中心に、木造戸建住宅向けとして記載しています。

<建材>

窓(サッシ+ガラス)



# 健康に資する窓(サッシ) <選定のポイント>

## 健康への影響

室温が低いと生活空間の快適さを阻害し、心血管疾患、呼吸系疾患などの健康リスクが高くなります。また起床時に血圧が高くなる傾向があります。

空気中に浮遊するアレルゲンを体内に取り込むことで、アレルギー症状がみられる場合があります。例えば窓ガラスの結露現象によりカビが発生しやすくなり、アレルゲンとなる場合があります。

窓からの光を積極的に取り入れることは、居住者へ開放感を与え、リラックス・リフレッシュ効果があります。また、静かな寝室は睡眠の質をおおきく向上させることができます。

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内

空気

きれいな空気

光

音

明るさ、静かさ

## 選定のポイント



冬でも温度差の少ない室内を実現するために、断熱性能の高い製品を選びましょう。



結露を抑制し清潔さを保つために、断熱性能の高い製品を選びましょう。



窓の設置場所や大きさを考慮し、遮音性能の高い製品を選びましょう。

# 健康に資する窓(サッシ) <性能リスト>

## <求められる性能>

室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入れ替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	音
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	静かさ
仕様 ・ 性能 ・ 機能	<p>ZEH基準熱貫流率 (6地域2.33以下)</p> <p>【断熱性能】 JIS A4706 (H 5 等級)</p> <p>【気密性能】 JIS A4706 (A 4 等級)</p>	<p>ZEH基準熱貫流率 (6地域2.33以下)</p> <p>【断熱性能】 JIS A4706 (H 5 等級)</p> <p>【気密性能】 JIS A4706 (A 4 等級)</p> <p>換気ができる開閉機能</p>	<p>【遮音性能】 ・JIS A4706 (T2等級)</p>
必須			
任意			

# 健康に資する窓(ガラス) <選定のポイント>

## 健康への影響

室温が低いと生活空間の快適さを阻害し、心血管疾患、呼吸系疾患などの健康リスクが高くなります。また起床時に血圧が高くなる傾向があります。

空気中に浮遊するアレルゲンを体内に取り込むことで、アレルギー症状がみられる場合があります。例えば窓ガラスの結露現象によりカビが発生しやすくなり、アレルゲンとなる場合があります。

窓からの光を積極的に取り入れることは、居住者へ開放感を与え、リラックス・リフレッシュ効果があります。また、静かな寝室は睡眠の質をおおきく向上させることができます。

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内

空気

きれいな空気

光

音

明るさ、静かさ

## 選定のポイント



冬でも温度差の少ない室内を実現するために、断熱性能の高い製品を選びましょう。



結露を抑制し清潔さを保つために、断熱性能の高い製品を選びましょう。



採光性とプライバシー性を考慮してガラスの種類を選択しましょう。防音性を求める場合は防音ガラスや二重窓化の検討が必要です。

# 健康に資する窓(ガラス) <性能リスト>

## <求められる性能>

室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	光	音	安全
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	明るさ・静かさ		安全・安心
仕様 ・ 性能 ・ 機能	<p>断熱機能</p> <p>【断熱性能】 ZEH基準(開口部 窓) 1-3地域 1.90W/m<sup>2</sup>・K 4-6地域 2.33W/m<sup>2</sup>・K を満たすサッシとガラスの組合せ</p>	<p>アレルゲン発生抑制機能</p> <p>【断熱性能】 ZEH基準(開口部 窓) 1-3地域 1.90W/m<sup>2</sup>・K 4-6地域 2.33W/m<sup>2</sup>・K を満たすサッシとガラスの組合せ</p>	<p>採光機能</p> <p>遮音機能</p> <p>【遮音性能】 サッシ JIS A 4706 遮音等級T-2相当</p>		<p>飛散・脱落防止機能 (防犯、防災機能も付加可能)</p> <p>【耐衝撃性能】 合わせガラス JIS R 3205</p> <p>ショットバッグ試験 Ⅱ-1類、Ⅱ-2類、Ⅲ類相当</p>
	必須				任意

<建材>

内窓



# 健康に資する内窓 <選定のポイント>

## 健康への影響

室温が低いと生活空間の快適さを阻害し、心血管疾患、呼吸系疾患などの健康リスクが高くなります。また起床時に血圧が高くなる傾向があります。

空気中に浮遊するアレルゲンを体内に取り込むことで、アレルギー症状がみられる場合があります。例えば窓ガラスの結露現象によりカビが発生しやすくなり、アレルゲンとなる場合があります。

騒音と音漏れを抑えることは、快適な住環境づくりに必要不可欠です。静かな寝室は睡眠の質をおおきく向上させることができます。

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内

空気

きれいな空気

音

しずかな環境



内窓の追加設置により、手軽に断熱性能を改善でき、快適で健康な暮らしを手に入れることができます。



既存の窓はそのまま残して内窓を設置するため、結露を抑制し清潔さを保つことができます。



既存の窓部分へ内窓を設置すると二重窓の構造になり、窓からの騒音の侵入を防ぎ、室内の音漏れも抑えてくれます。

## 選定のポイント

# 健康に資する内窓 <性能リスト>

## <求められる性能>

室内の温熱環境を保持でき、カビ・ダニ等のアレルゲンの発生を抑え、新鮮な空気の入替えや、静かでやすらげる居住空間を実現できるもの。

要素	温熱	空気	音
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気	静かさ
仕様 ・ 性能 ・ 機能	<p>既設外窓と内窓の間の空気層の確保ができる設置</p> <p>Low-E複層ガラスとの組み合わせ</p>	<p>断熱性能の高い素材の枠・障子を採用していること</p>	<p>既設外窓と内窓の間の空気層の確保ができる設置</p> <p>遮音性能の高いガラスとの組み合わせ</p>
必須			
任意			

<建材>

断熱材

# 健康に資する断熱材 <選定のポイント>

## 健康への影響

断熱性能の低い住宅では外部の気温の影響を受け、空間・室内の温度差が発生しやすくなってしまいます。この空間・室内の温度差が生活空間の快適さを阻害し、健康にも悪影響を与えます。

化学物質などが原因で、めまいや頭痛などの症状が発生することがあります。また空気中に浮遊するアレルゲンを体内に取り込むことで、アレルギー症状がみられる場合があります。

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内

空気

きれいな空気

## 選定のポイント



断熱性能を改善することで、冷暖房の効きがよくなり、温度差を少なくできます。  
※断熱効果を発揮するためには断熱材の正しい施工が重要です。



ホルムアルデヒド室内基準以下の断熱材を選択しましょう。  
※ダニやカビの発生原因となる結露を抑制するために、断熱材の正しい施工が重要です。

# 健康に資する断熱材 <性能リスト>

## <求められる性能>

健康的な室内の温熱環境を保持でき、有害な物質を室内に発散しないもの。また表面結露を防止し、カビやダニなどのアレルゲンの発生を抑えることができるもの。

要素	温熱	空気
キーワード	あたたかい室内	きれいな空気
仕様 ・ 性能 ・ 機能	断熱誘導基準（仕様基準）のR値以上であること（6地域木造軸組 壁充填2.7以上）	ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆
必須		
任意		



<設備>

トイレ

# 健康に資するトイレ <選定のポイント>

## 健康への影響

あたたかい居間・寝室から、トイレに移動する際に室温の差が大きいと、身体への負担がかかります。

<想定される健康リスク>

- ・血圧変動によるヒートショック
- ・呼吸器系疾患、心血管疾患

トイレは、着脱衣、排泄等の行為を行うため、身体のバランスを崩しやすくなります。

夜間や眼鏡等を外した状態で使用する際は、より顕著となります。

<想定される健康リスク>

- ・つまづき、転倒、衝突

トイレは、居住者全員が毎日、共用して、排泄等を行うため、清潔で衛生的な空間の維持が重要です。

また、掃除が容易に行えるか否かも重要となります。

<想定される健康リスク>

- ・アレルギー疾患、呼吸器系疾患
- ・無理な姿勢や過度な力による痛み

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内



冬はトイレをあたたかくしましょう。暖房機能のある温水洗浄便座はリラックス効果も期待できます。

安全

安心して使える



手すりの取り付けなど、転倒やケガのリスクを減らすためのバリアフリー設備も重要です。

清潔

衛生面への配慮がある



自動洗浄や消臭効果により、衛生環境を保つことは、健康サポートにつながります。

## 選定のポイント

# 健康に資するトイレ <性能リスト>

## <求められる性能>

冷たさ感の軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	あたたかい室内			安心して使える		衛生面の配慮がある
仕様 ・性能 ・機能	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p><b>暖房便座</b> ・着座時冷たさ感の軽減</p> </div> <div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>(暖房機器を室内に置く)</b> ・ヒートショックの軽減</p> </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>脱臭機能</b> ・トイレ空間の空気環境の快適性維持</p> </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>補助照明機能</b> ・夜間使用時等の眩しさ、躓きを抑制</p> </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>手すり</b> ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上</p> </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p><b>温水洗浄機能(洗浄モード選択機能)</b> ・使用時の快適性の向上</p> </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p><b>便フタオート開閉</b> ・非接触操作で清潔</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>清掃しやすい形状</b> ・清掃容易、家事負担軽減</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>便フタ閉止後洗浄</b> ・非接触操作、飛散防止で清潔</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>除菌水散布機能</b> ・汚れが付きにくく清掃容易、家事負担軽減</p> </div>
	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>必須</p> </div>					
	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>任意</p> </div>					

<設備>

バスルーム

# 健康に資するバスルーム <選定のポイント>

## 健康への影響

あたたかい居間・寝室から、浴室に移動する際に室温の差が大きいと、身体への負担がかかります。脱衣～入浴は、急激な温度変化による血圧変動に注意が必要です。

<想定される健康リスク>

- ・血圧変動によるヒートショック
- ・呼吸器系疾患、心血管疾患

浴室は、体洗い・入浴等の行為を行うため、身体のバランスを崩しやすくなります。滑りや転倒の危険性が高いため、安全対策が重要です。

<想定される健康リスク>

- ・つまづき、転倒、衝突

浴室は、居住者全員が毎日、共用して、体洗い等を行うため、清潔で衛生的な空間の保持が重要です。また、掃除が容易に行えるか否かも重要となります。

<想定される健康リスク>

- ・アレルギー疾患、呼吸器系疾患
- ・無理な姿勢や過度な力による痛み

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内



暖房機能を備えて浴室をあたたかくしましょう。ヒートショックのリスクをさらに軽減するため、十分な水分補給とゆっくりとした温度調節を行きましょう。

安全

安全面の配慮がある



滑りや転倒の危険性が高いため、滑り止めや手すりの設置、段差の解消で安全性を確保しましょう。

清潔

清潔を保つ



除菌機能や抗菌加工により、衛生的な状態を保つことも効果的ですが、定期的な清掃と換気も大切です。

## 選定のポイント



# 健康に資するバスルーム <性能リスト>

## <求められる性能>

ヒートショック軽減、清潔性の維持、快適性・安全性への配慮機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	あたたかい室内			安全面の配慮がある		清潔に保つ
仕様 ・性能 ・機能	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     暖房機能(暖房乾燥機など) ・ヒートショックの軽減                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">                     つめたくない床 ・ヒートショックの軽減                 </div>			<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     手すり(握りバー、グリップなど) ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上                 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">                     すべりにくい床 ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上                 </div>	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     水流機能(ジェット噴流、気泡放出、オーバーヘッドシャワーなど) ・使用時の快適性の向上(癒し、潤い、爽快感)                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">                     ミスト付き暖房換気乾燥機 ・使用時の快適性の向上(癒し、潤い、爽快感)                 </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     清掃しやすい排水口 ・清掃容易、家事負担軽減                 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     汚れが落としやすい床 ・清掃容易、家事負担軽減                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">                     除菌水散布機能 ・汚れが付きにくく清掃容易、家事負担軽減                 </div>
	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     必須                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">                     任意                 </div>					

<設備>

洗面台

# 健康に資する洗面台 <選定のポイント>

## 健康への影響

あたたかい居間・寝室から、洗面室に移動する際に室温の差が大きいと、身体への負担がかかります。脱衣～入浴は、急激な温度変化による血圧変動に注意が必要です。

<想定される健康リスク>

- ・血圧変動によるヒートショック
- ・呼吸器系疾患、心血管疾患

洗面室は、着脱衣、洗顔、身づくろい等の行為を行うため、身体のバランスを崩しやすくなります。眼鏡等を外した状態で使用する際は、より顕著となります。

<想定される健康リスク>

- ・つまづき、転倒、衝突

洗面室は、居住者全員が毎日、共用して、洗顔等を行うため、清潔で衛生的な空間の保持が重要です。また、掃除が容易に行えるか否かも重要となります。

<想定される健康リスク>

- ・アレルギー疾患、呼吸器系疾患
- ・無理な姿勢や過度な力による痛み

## 健康に資するキーワード

温熱

あたたかい室内



寒い季節でも快適に使用できるよう、暖房設備を整えることが望まれます。

安全

安全面の配慮がある



滑りや転倒の事故を防ぐために、手すりの設置、段差の解消などを行い、安全に配慮しましょう。

清潔

清潔を保つ



定期的な清掃で衛生的な状態を保ち、換気設備を整えて湿気やニオイを抑えましょう。触ることの少ない自動水栓の採用も効果的です。

## 選定のポイント

# 健康に資する洗面台 <性能リスト>

<求められる性能>  
清潔性の維持、清掃の容易性を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード	あたたかい室内			安全面の配慮がある		清潔に保つ
仕様 ・性能 ・機能	<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;">                     (暖房機器を室内に置く)                      ・ヒートショックの軽減                 </div>	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">                     化学物質の発生が少ない木質建材部分                      ・ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆                      及び4VOC基準適合品                 </div>		<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;">                     手すり(握りバーなど)                      ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     ボウル高さ選択可能                      ・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上                 </div>		<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">                     タッチレス水栓                      ・非接触操作で清潔                 </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     清掃しやすい排水口、ボウル形状                      ・清掃容易、家事負担軽減                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     除菌水散布機能                      ・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減                 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     タッチレス照明スイッチ                      ・非接触操作で清潔                 </div>
必須						
任意						

<設備>

キッチン



# 健康に資するキッチン <選定のポイント>

## 健康への影響

キッチン空間の温度環境や、リビング空間など周囲とのコミュニケーションの取りやすさ等が、キッチン使用時の快適性につながります。

<想定される健康リスク>

- ・寒冷時の寒さでスムーズに動けない
- ・調理時等にこどもの見守りができない

キッチン使用時は、上下左右のキャビネットからの器具の出し入れ、長時間の立姿勢維持など、多くの身体負荷がかかります。

<想定される健康リスク>

- ・肩こり、腰痛など

キッチンでは飲食物を扱うため、清潔で衛生的に維持することが重要です。また、掃除が容易に行えるか否かも重要となります。

<想定される健康リスク>

- ・食中毒など
- ・無理な姿勢や力による身体の痛み

## 健康に資するキーワード

安全

周囲とコミュニケーションしやすい



調理しながらリビングに居るお子さまの様子が見守りやすい、対面型などのキッチンレイアウトは見守りにも効果的です。

安全

楽な姿勢で使える



使い勝手や動線を考慮して調理や収納のスペース、高さなどを適切に配置し、照明の明るさも工夫して快適な作業空間を作りましょう。

清潔

掃除がしやすい



食材や調理器具の適切な保管と、定期的な清掃、排水口や換気扇のメンテナンスも、清潔さと衛生面を保つために大切です。

## 選定のポイント

# 健康に資するキッチン <性能リスト>

## <求められる性能>

使用時の動作・姿勢等への配慮、清潔性の維持機能を併せ有するもの。

要素	温熱	空気	光	安全	快適	清潔
キーワード				周囲とコミュニケーションしやすい 楽な姿勢で使える		掃除がしやすい
仕様 ・ 性能 ・ 機能		<p>化学物質の発生が少ない木質建材部分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホルムアルデヒド発散等級 F☆☆☆☆</li> <li>及び4VOC基準適合品</li> </ul>		<p>対面型レイアウト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの見守り容易化</li> </ul> <p>カウンター高さ選択可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用時の姿勢の維持、動作時の安全性の向上</li> </ul>	<p>浄水等機能(浄水器、還元水素水生成器など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲用時の快適性の向上</li> </ul>	<p>タッチレス水栓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非接触操作で清潔</li> </ul> <p>手間軽減レンジフード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃頻度が少なく、家事負担軽減</li> </ul> <p>清掃しやすい排水口、シンク形状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃容易、家事負担軽減</li> </ul> <p>除菌水散布機能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・汚れがつきにくく清掃容易、家事負担軽減</li> </ul> <p>除菌機能付き食器洗い乾燥機</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・除菌効果で清潔</li> </ul>
必須						
任意						